



## 福井鉄道設備更新特別支援事業(第3期)

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体	福井鉄道株式会社					事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助												
補助率	県2/3(国1/3)												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]					関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
通勤・通学等の日常生活に不可欠な公共交通機関であり、新幹線来県者の2次交通としても重要な役割を担う福井鉄道福武線の維持が必要である。						・年間利用者数の推移(過去5年間の状況) R1:1,988千人、R2:1,590千人、R3:1,756千人、R4:1,873千人、R5:1,925千人							
[事業目的]													
福井鉄道福武線の安全確保等を図るため、福井鉄道の設備更新および大規模修繕に要する経費に対して支援を行う。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備投資補助 安全な鉄道運行に必要な設備投資に対する補助</li> </ul>													
[受益者] 福井鉄道利用者						[想定される受益者数] 約193万人/年(令和5年度)							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井鉄道設備更新特別支援事業(第2期) (実績)  ・県は安全対策に係る設備更新費用を支援 ・市は維持修繕に係る経費を支援				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況		福井鉄道に対して、令和5年度～令和9年度の5年間で県が設備投資約16億円の補助、沿線市が維持修繕費約9億円の補助および鉄道用地の無償貸付を引き続き実施する。				他県の状況		(石川県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への協調補助として「北陸鉄道」と「のと鉄道」に補助(両鉄道事業者:国1/3、県1/3) (富山県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への協調補助として「(路)万葉線」と「富山地方鉄道」に補助(万葉線:国1/3、県1/3 富山地方鉄道:国1/3、県1/4)					

## 福井鉄道設備更新特別支援事業(第3期)

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体	福井鉄道株式会社					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助												
補助率	県2/3(国1/3)												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	249,727				249,727								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		415,242	385,261	325,084	416,562	249,727	設備投資の内容による減 ※6年度2月補正前倒し分は7年度当初予算として記載						
2月現計予算額の推移		379,240	385,261	297,904	410,076								
決算額の推移		379,240	305,319	268,064									
前年度までの 主な増減理由		・設備投資計画に基づく増減											
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	福井鉄道利用者数	(目標) 2,169	(2,200)	(2,007)	(2,154)	(2,167)	(2,167)	(2,200)	福井鉄道福武線の年間利用人員(単位:千人) 目標:年間利用者数2,200千人(R9年度) ※令和4年度までの目標は第2期支援スキーム(H29-R4)での目標値 ※令和6年度実績はR7.6月以降公表予定				
		実績 1,756	1,873	1,925									
活動指標	レール交換[km]	(目標)		(0.6)	(0.9)	(0.8)	(2.3)	(3.4)	第3期支援スキーム(R5~R9)の主たる工種 ※最終目標はR9年度末時点の累計				
		実績		0.6	0.9								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価					
【利用者数】161万人(R7,1月末時点) <外的要因> ・人口減少等の影響により非日常利用者が減少したため目標未達成見込 【レール交換】0.9km ・計画通りに整備が完了したため目標達成					・第3期支援スキームに基づき事業を実施見込み			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## えちぜん鉄道基盤整備支援事業(第3期)

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体	えちぜん鉄道株式会社					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 24 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助												
補助率	県2/3(国1/3)(うち土地賃借料10/10)												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]					関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
通勤・通学等の日常生活に不可欠な公共交通機関であり、新幹線来県者の2次交通としても重要な役割を担う鉄道勝山永平寺線・三国芦原線の維持が必要である。						・年間利用者数の推移(過去5年間の状況) R1:3,624千人、R2:2,651千人、R3:3,003千人、R4:3,391千人、R5:3,599千人							
[事業目的]													
えちぜん鉄道三国芦原線および勝山永平寺線の安全・安定運行の確保等を図るため、鉄道事業の土地賃借に要する経費と設備投資に対して支援を行う。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地賃借料補助 資産取得交渉を継続している鉄道事業に供する土地の賃借料に対する補助</li> <li>・設備投資補助 安全な鉄道運行に必要な設備投資に対する補助</li> </ul>													
[受益者] えちぜん鉄道利用者						[想定される受益者数] 約360万人/年(令和5年度)							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 えちぜん鉄道基盤整備支援事業(第2期) (実績) ・県は安全対策に係る設備更新費用、鉄道用地取得費を支援 ・市は維持修繕に係る経費を支援					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	えちぜん鉄道に対して、令和4年度～令和8年度の5年間で県が設備投資約13.8億円、沿線市が経営支援として約15億円の補助を行う。					他県の状況	(石川県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への協調補助として「北陸鉄道」と「のと鉄道」に補助(両鉄道事業者:国1/3、県1/3) (富山県) ・国の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への協調補助として「(路)万葉線」と「富山地方鉄道」に補助(万葉線:国1/3、県1/3 富山地方鉄道:国1/3、県1/4)						

## えちぜん鉄道基盤整備支援事業(第3期)

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体	えちぜん鉄道株式会社					事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H14 年度 経過年数 24 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	補助												
補助率	県2/3(国1/3)(うち土地賃借料10/10)												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	375,368		374,000		1,368								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		268,525	287,275	323,471	236,962	375,368	※2月補正前倒し分は当初予算として記載						
2月現計予算額の推移		268,525	287,275	323,471	236,962								
決算額の推移		234,711	231,357	291,496									
前年度までの 主な増減理由		・設備投資計画に基づく増減											
[成果指標等の推移]													
区分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	えちぜん鉄道利用者数 (目標)	(3,330)	(3,234)	(3,650)	(3,712)	(3,674)	(3,674)	(3,740)	えちぜん鉄道の年間利用人員(単位:千人) 目標:年間利用者数3,740千人(R8年度) ※令和3年度までの目標は第2期支援スキーム(H24-R3)での目標値 ※令和6年度実績はR7.6月以降に公表予定				
	実績	3,003	3,391	3,599									
活動指標	電線路(塩害対策)の整備延長[km] (目標)		(3.6)	(3.7)	(2.8)	(2.8)	(12.9)	(16.5)	第3期支援スキーム(R4~R8)の主たる工種 ※最終目標はR8年度末時点の累計				
	実績		3.9	3.9	2.8								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
【利用者数】331万人(R7.1月末時点) <外的要因> ・人口減少等の影響により非日常利用者が減少したため目標未達成見込 【電路線の整備】2.8km ・計画通りに整備が完了したため目標達成				・第3期支援スキームに基づき事業を実施見込み				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

# 地域鉄道振興事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人			
事業主体	県、各鉄道路線の利用促進団体等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	県10/10													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 10 交流を広げる基盤整備 〕				関連する県の計画等		〔 〕							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
地域鉄道の振興のため、ふるさと納税の効果的な活用が必要である。						令和5年度利用者数 福井鉄道 約193万人(R1比▲6万人) えちぜん鉄道 約360万人(R1比▲2万人) JR北陸本線(特急除く) 約585万人(R1比▲109万人) 計1,138万人(R1比▲117万人)								
[事業目的]														
全国の鉄道ファンからのふるさと納税を財源に、県内地域鉄道への誘客を図るとともに、駅の利用環境の改善や案内の充実など、地域鉄道の魅力アップを支援する。														
[事業内容]														
(1)ふるさと納税返礼品 鉄道路線ごとにふるさと納税を募集 企画切符やイベント招待など、来県につながる返礼品を用意(寄付額の3割上限)														
(2)魅力アップ支援 ふるさと納税を活用し、駅の利用環境の改善など、地域鉄道の魅力アップを支援 (利用促進団体等への補助金とし、各団体にて執行)														
(1)補助対象 地域鉄道の魅力アップにかかる経費 例)駅環境の改善 ベンチ、テーブル、クッション、看板整備、塗装 など 鉄道・駅舎利用イベント 鉄道利用ツアー、スタンプラリー など														
(2)補助事業者 各路線(福井鉄道、えちぜん鉄道)の利用促進団体 等														
[受益者] 福井鉄道、えちぜん鉄道利用者						[想定される受益者数] 約553万人(令和5年度)								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域鉄道振興事業 (実績) R1:写真展、講演会等 5回 R2:小学校での特別授業 2回 R3:小学校での特別授業、写真展等 2回 ふるさと納税実績 84件 寄付総額1,490千円				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 並行在来線対策事業 (役割分担)  (株)ハピラインふくいに対してのふるさと納税の寄附は、並行在来線対策事業にて実施する地域活動支援事業へ充当							
市町との連携状況					他県の状況									

# 地域鉄道振興事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人				
事業主体	県、各鉄道路線の利用促進団体等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			7 年
補助率	県10/10														
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,396				(寄) (繰入) 475 549	372									
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			749	357	1,276	426	1,396	・寄附金(ふるさと納税)の増							
2月現計予算額の推移			1,672	613	746	791									
決算額の推移			766	318	637										
前年度までの 主な増減理由	令和5年度:ふるさと納税の活用メニューを追加														
[成果指標等の推移]															
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	地域鉄道利用人員	(目標) 実績	(5,499) 4,759	(5,434) 5,264	(5,602) 5,524	(5,866)	(5,841)	(5,841)	(5,841)	福井鉄道およびえちぜん鉄道の年間利用人員(単位:千人) 目標:年間利用者数5,841千人(令和7年度) ※令和6年度実績はR7.6月以降公表予定					
活動指標	寄付件数	(目標) 実績	(100) 84	(100) 20	(180) 57	(50)	(50)	(480)	(480)	ふるさと納税寄付件数(単位:件) 目標:480件(令和7年度時点の累計) ※令和6年度実績はR7.4以降確定					
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
【利用者数(福井鉄道・えちぜん鉄道)】492万人(R7.1月末時点) <外的要因> ・人口減少等の影響による非日常利用者の減少により目標未達成見込 【寄付件数】20件(R7.1月末時点) <事業による要因> ・デジタルスタンプラリーイベント開始月以降の寄付件数減少により目標未達成見込				ふるさと納税の寄付金をもとに駅の利用環境改善や広報PR などを実施するなど、寄付の用途を明確化し、リピーターの獲得に繋げる。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 交通系ICカード活用効率化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課		課長名	坂下 正人	
事業主体	福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助												
補助率	県10/10												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]						
[解決すべき問題・課題] 路線バスと福井鉄道、えちぜん鉄道のICOCA定期券は、時間・場所の限られた窓口でしか購入ができず、また鉄道とバスを乗り継ぐ場合、カードが2枚必要となり煩雑なことから、これらを改善し利用者の利便性向上を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 定期券販売窓口 京福バス4か所(8:00~17:00頃)、福鉄バス2か所(8:00~17:00頃) 福井鉄道5か所(7:00~19:00頃)、えちぜん鉄道15か所(6:30~19:30頃)							
[事業目的] 福井鉄道、えちぜん鉄道に対して「ICOCA Web定期券サービス」の導入を支援し、利用者の利便性向上と事業者の負担軽減を図る。													
[事業内容]  Web定期券サービス導入支援事業  (1)補助内容 「ICOCA Web定期券サービス」導入に要する費用  (2)補助率 県10/10  (3)事業主体 福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社													
[受益者] 福井鉄道、えちぜん鉄道利用者						[想定される受益者数] 約553万人/年(令和5年度)							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況							

## 交通系ICカード活用効率化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人	
事業主体	福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助					事業 区分						
補助率	県10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,000				4,000							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					19,000 (9月補正)	4,000						
2月現計予算額の推移					12,000							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	定期券購入の利便性向上 (目標) 実績								ICOCA定期券購入の利便性向上を図るものであり、成果指標の数値目標の設定に馴染まない			
活動指標	Web定期券サービスの導入 (目標) 実績					完了		完了				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・システム開発に向けた補助を実施し、Web定期券サービスの導入に向け計画通り進捗				・計画どおり事業を実施見込み				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 「鉄道観光」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部・新幹線交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人	
事業主体	ふくいの鉄道観光推進実行委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 10 交流を広げる基盤整備 〕				関連する県の計画等		〔 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<p>コロナ禍で減少した県内地域鉄道の非日常利用者数の回復が遅れていることから、県内鉄道事業者が連携した利用促進を行うことで、非日常利用者数の回復を図る。</p>						<p>令和5年度利用者数 福井鉄道 約193万人(R1比▲6万人) ※うち非日常利用者数 約79万人(R1比▲9万人) えちぜん鉄道 約360万人(R1比▲2万人) ※うち非日常利用者数 約156万人(R1比▲13万人)</p>						
[事業目的]												
本県の充実した地域鉄道の魅力を発信し、新たな観光資源として活用する「鉄道観光」を推進する。												
[事業内容]												
<p>○鉄道ふくいフェスタ2025の開催 福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピラインふくい等が一斉に魅力体験イベントを開催し、全国に福井の地域鉄道をPRする。 また、沿線市町や関係団体のイベント等との同時開催も検討するほか、イベント会場を巡るスタンプラリーも併せて実施することで、沿線の周遊観光を促す。</p> <p>実施時期 令和7年10月(2日間) 会場 田原町駅、南福井駅(JR貨物)、南福井車両基地(ハピラインふくい)、北府駅(福井鉄道)など 内容 運転体験、車両基地見学、制服試着(記念撮影)、お仕事体験、鉄道の裏側紹介、ミニ鉄道乗車体験 イベント会場を巡るスタンプラリー、著名人によるトークセッション など</p>												
県民全体						[想定される受益者数] —						
<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)						<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)						
事業名						関連事業の有無・役割分担						
市町との連携状況						他県の状況						
イベントの同時開催												

# 「鉄道観光」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部・新幹線交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人	
事業主体	ふくいの鉄道観光推進実行委員会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金					事業 区分						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,000				4,000							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				7,500	4,000	4,000						
2月現計予算額の推移				7,500	4,000							
決算額の推移				5,951								
前年度までの 主な増減理由	R6年度:ホームページ開設費用の減											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	地域鉄道利用人数 (目標) 実績			(5,602) 5,524	(5,866)	(5,841)	(5,841)	(5,841)	福井鉄道およびえちぜん鉄道の年間利用人員(単位:千人) 目標:年間利用者数5,841千人(R7年度) ※令和6年度実績はR7.6月以降公表予定			
活動指標	イベントの参加者数 (目標) 実績			(4,000) 4,457	(4,400) 5,698	(4,400)	(12,800)	(12,800)	目標:12,800人(R7年度累計)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
【利用者数(福井鉄道・えちぜん鉄道)】492万人(R7.1月末時点) <外的要因> ・人口減少等の影響による非日常利用者の減少により目標未達成見込 【イベント参加者数】5,698人 <事業による要因> ・令和6年3月に開業したハピラインふくい新たに会場を設けて開催したほか、鉄道運輸機構や「鉄道の日」中部実行委員会(中部運輸局)の共催によりイベント規模を拡大したことで、目標を大幅に超えて達成				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 地域鉄道バリアフリー推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人	
事業主体	福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社、株式会社ハピラインふくい				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2(市町1/2)											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ 福井県障がい者福祉計画 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
すべての鉄道利用者が安全かつ円滑に利用できるよう、駅の受入環境整備を一層進める必要がある。						【スロープ設置状況】 えちぜん鉄道 勝山永平寺線 7/23(30%)、三国芦原線 9/21(43%) 【エレベーター設置状況】 ハピラインふくい 5/18(28%)						
[事業目的]												
北陸新幹線開業による来県者の増加や今後も進行する高齢社会を見据え、高齢者や障がい者、インバウンド客を含む来県者など、すべての鉄道利用者が安全かつ円滑に駅を利用できるよう、地域鉄道事業者が駅において行うバリアフリー化設備の整備等を支援する。												
[事業内容]												
(1)補助内容 ① ハピラインふくい 今庄駅 バリアフリー対応通路の新設 ② えちぜん鉄道 あわら湯のまち駅 バリアフリー対応スロープの新設  (2)補助率 1/2(市町1/2)  (3)補助限度額 20,000千円/駅												
[受益者] えちぜん鉄道、ハピラインふくい利用者						[想定される受益者数] 約982万人/年(令和5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 おもてなしのバリアフリー・合理的配慮推進事業 (役割分担) おもてなしのバリアフリー・合理的配慮推進事業 :商業施設、娯楽施設等 地域鉄道バリアフリー推進事業 :公共交通機関の施設						
市町との連携状況	・市町補助事業の採択を受けた事業に補助				他県の状況							

## 地域鉄道バリアフリー推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人	
事業主体	福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社、株式会社ハピラインふくい				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助					事業 区分						
補助率	県1/2(市町1/2)											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	30,699		30,000		699							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					2,000	30,699	補助対象経費の内容による増 ※2月補正前倒し分は当初予算として記載					
2月現計予算額の推移					1,054							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由	令和6年度 バリアフリー化に要する機械器具の購入に対する補助 令和7年度 バリアフリー化に要する工事に対する補助											
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	地域鉄道のバリアフリー化 (目標) 実績								地域鉄道のバリアフリー化による利便性向上を図るものであり、成果指標の数値目標の設定に馴染まない 目標:3件(R10年度末時点の累計) ※機械器具購入 1件(R6) ※工事施工 2件(R7~)			
活動指標	補助件数 (目標) 実績				(1) 1	(2)	(3)	(3)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
【補助件数】1件(福井鉄道) ・バリアフリー化に要する車椅子用可搬型スロープの購入に対して補助を行い、補助件数の目標達成。				・バリアフリー対応の通路やスロープの新設に対して補助を行う(2駅)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 地域鉄道人材確保支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課		課長名	坂下 正人
事業主体	福井県鉄道協会、福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社、株式会社ハピラインふくい				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助、直営											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題] 鉄道業界においては慢性的な人手不足の解消が喫緊の課題となっており、今後も地域鉄道が安定的で利便性の高いダイヤによる運行を行うためには、人材確保策を実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] <運輸職・技術職職の雇用状況> (R7.1現在) 福井鉄道:定員68名、現数58名(▲10名) えちぜん鉄道:定員156名 現数146名(▲8名) ハピラインふくい:定員259名 現数269名(10名)※R8~JR出向者順次帰任(約10~20名/年)						
[事業目的] 県内の地域鉄道が安定的に利便性の高いダイヤにより運行できるよう、就職説明会の開催など鉄道事業者が実施する運転士等の人材確保策に対して支援する。												
[事業内容] (1)地域鉄道就職説明会開催等の支援【2,000千円】 合同企業説明会や職場見学会の開催、就職情報WEBサイトへの求人掲載など、鉄道事業者が実施する人材確保策に対して補助 補助対象者:福井県鉄道協会 補助率:県1/2 (2)地域鉄道就職奨励金【12,200千円】 県内の地域鉄道事業者に正社員として採用された者※に対して奨励金を支給(1人当たり30万円) さらに、県内の高校または大学卒業者(新卒・第二新卒)には奨励金を上乗せ支給(1人当たり10万円) ※「正社員として採用された者」:鉄道免許取得前等につき契約社員扱いの者も含む 奨励金:30~40万円/人 支給時期:採用3ヶ月経過後												
[受益者] 福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピラインふくい利用者数						[想定される受益者数] 約1,175万人/年(令和5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況					他県の状況							

## 地域鉄道人材確保支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人			
事業主体	福井県鉄道協会、福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社、株式会社ハピラインふくい				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	補助、直営					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	県1/2					□ その他								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	14,200					14,200								
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				43,287	14,200	運転士支援システム導入支援費の減								
2月現計予算額の推移			6,007	42,851										
決算額の推移			5,969											
前年度までの 主な増減理由	R6年度:事業者が実施する人材確保策への支援等を追加													
[成果指標等の推移]														
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	新規採用人数	(目標)		(4)	(32)	(33)	(69)	(86)	目標:新規採用人数 86人(R8年度末時点の累計) ※福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピラインふくいの総数					
		実績		4	28									
活動指標	説明会開催・参加件数	(目標)		(7)	(1)	(2)	(10)	(12)	目標:説明会開催件数(総数)10件(R8年度末時点の累計)					
		実績		7	2									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
【新規採用人数】28人 <事業の要因> ・定年退職増加、突発退職に備えた多めの採用希望数であったため目標未達成 【説明会開催件数】2回 ・8月と3月の2度説明会を開催し目標達成				・R7.3月より運転士支援システムの導入開始 ・引き続き、就職奨励金の支給や鉄道事業者が実施する就職説明会の開催等に対して支援				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	29,087			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 並行在来線対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体		県、ハピラインふくい利用促進協議会			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R16 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ]	政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]		関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]  並行在来線(ハピラインふくい)は厳しい経営が見込まれるため、収支改善につながる利用促進策を実施していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ]  ・並行在来線県内区間の利用者数(R3需要予測調査結果) 令和6年度:20,167人/日 ⇒ 令和16年度:18,162人/日(▲2,005人/日) ・開業後11年間の並行在来線会社の累計収支差:▲70億円						
[事業目的]  「ハピラインふくい利用促進協議会」が主体となって、ハピラインふくい、行政、企業、県民が一体となって効果的な利用促進策を検討、実施していく。												
[事業内容]  ＜令和7年度の事業内容＞ (1)ハピラインふくい利用促進協議会負担金 ＜負担金内訳＞ 県700千円、沿線7市町700千円、(株)ハピラインふくい100千円、合計1,500千円												
[受益者] ハピラインふくい利用者						[想定される受益者数] 約682万人(R6.3～R7.1)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)			事業名	関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸三県並行在来線利用促進連携事業 (役割分担) 上記事業は、北陸三県が連携して実施する、広域的な利用促進策を検討・実施するための事業 本事業は県内の並行在来線について、沿線市町や地域団体と連携した利用促進策を検討・実施するための事業						
市町との連携状況	沿線7市町、市長会、町村会が利用促進協議会に参画					他県の状況	えちごトキめき鉄道活性化協議会(新潟県) ・構成員:県、沿線3市町、会社 ・負担金:県1,500千円/年 沿線市町1,500千円/年 ・主な事業 (1)利用促進イベントの開催費支援 (2)地域団体の育成 等					

## 並行在来線対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・興津まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人					
事業主体	県、ハピラインふくい利用促進協議会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R16 年度		
事業実施方法	直営、負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						■ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	700				700											
[予算額の推移等]												(単位:千円)				
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		748	764	764	764	700										
2月現計予算額の推移		748	764	764	764											
決算額の推移		199	764	700												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	並行在来線の利用者数 (目標) 実績				(2万人/日) 2.1万人/日	(2万人/日)	(2万人/日)	2万人/日	福井県並行在来線経営計画における利用者数目標 ・開業年度(R6)の利用者数2万人/日を開業後11年間維持 ※令和6年度実績はR7.6月以降公表予定							
活動指標	協議会等の開催回数 (目標) 実績	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4)	(4)	(4)	目標:1年間の協議会の開催回数							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価								
【利用者数】2.1万人/日(R7,1月末時点) ・開業効果や北陸DCなどにより目標達成 【協議会開催回数】4回 目標達成 <協議会事業内容> ・地域活動支援事業(ex.駅舎カフェ(坂井市)、駅舎内コンビニのプレオープン時におけるPRグッズの配布(鯖江市)) ・普及啓発事業(パンフレット増刷) ・人材確保事業、協議会開催事業、調査研究事業				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 並行在来線駅まち魅力づくり支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人	
事業主体	沿線市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題] 並行在来線(ハピラインふくい)の利用者増加を図るには、駅機能や交通結節機能の向上、都市施設の駅周辺への誘導(賑わい創出)など、沿線市町の取組みが重要となる。						[問題・課題を表す客観的データ] ・並行在来線県内区間の利用者数(R3需要予測調査結果) 令和6年度:20,167人/日 ⇒令和16年度:18,162人/日(▲2,005人/日)						
[事業目的] 駅機能や交通結節機能の向上、駅を中心としたまちづくりに取組む市町に対し補助を実施することで、交通利便性の向上、駅周辺の賑わい創出を促し、並行在来線利用者数の増加につなげる。												
[事業内容] ○駅機能や交通結節機能の充実など鉄道利用促進に資する施設等整備事業に対して補助する。 ※まちづくりの一環として、国土交通省の都市再生整備事業の認定(または鉄道局等の補助)を受けて実施する事業  <令和7年度の事業内容> 補助事業者 越前市 補助対象事業 越前市新駅「しきぶ駅」(王子保・武生間)において、国の都市再生整備事業の認定を受けて実施する交通系施設の整備事業 【補助対象】ロータリー、歩行者用通路、駐輪場、消雪(散水)機能、交流スペース 事業費 61,416千円 補助率 市町負担額の1/2(国庫補助を除く)国45%、県27.5%、越前市27.5% 事業期間 令和4年度(基本設計)～令和7年度 補助額 16,889千円												
[受益者] ハピラインふくい利用者						[想定される受益者数] 約682万人(R6.3～R7.1)						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担) ・並行在来線対策事業 ・並行在来線新駅設置支援事業  並行在来線対策事業は直営および利用促進協議会への負担金拠出 並行在来線新駅設置支援事業は、並行在来線会社が実施する新駅設置(鉄道施設部分のみ)に要する費用に対し、県と市町が補助				
市町との連携状況						他県の状況		富山県「あいの風とやま鉄道」駅舎利活用費補助金 ・駅活性化支援事業(ソフト事業) 補助率1/3、上限500千円 ・駅舎等環境整備支援事業(ハード事業) 補助率1/3、上限1,500千円				

## 並行在来線駅まち魅力づくり支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人				
事業主体	沿線市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度	
事業実施方法	補助											経過年数			3 年
補助率	県1/2														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	16,889				16,889										
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			支援制度創設		33,275	16,889									
2月現計予算額の推移					16,385										
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	並行在来線の利用者数	(目標) 実績			(2万人/日)	(2万人/日)	(2万人/日)	(2万人/日)	福井県並行在来線経営計画における利用者数目標 ・開業年度(R6)の利用者数2万人/日を開業後11年間維持						
					2.1万人/日										
活動指標	整備駅数	(目標) 実績			-	(1)	(1)	(6)	目標:R10年度末時点の累計 ・敦賀市(敦賀駅は補助対象外)を除く全沿線市町において駅を再整備 ※王子保・武生間新駅「しきぶ駅」前の整備に着手(令和6年度)						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
【利用者数】2.1万人/日(R7.1月末時点) ・開業効果や北陸DCなどにより目標達成 【整備駅数】1駅整備中 <事業の要因> ・入札不調により工期が2年に延長したため7年度に完成予定				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 並行在来線経営安定化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人				
事業主体	県、(株)ハピラインふくい					事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R16 年度
事業実施方法	直営、交付金						経過年数	3 年							
補助率	定額						3 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]					関連する県の計画等		[ ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
並行在来線(ハピラインふくい)は北陸三県の中で最も輸送密度が低く、厳しい経営が見込まれることから、長期にわたって経営を支える仕組みが必要						・北陸3県の輸送密度(R1) 福井県:約5,600人/日・km 石川県:約15,000人/日・km 富山県:約7,700人/日・km ・開業後11年間の並行在来線会社の累計収支差:▲70億円									
[事業目的]															
経営計画に基づき、県と沿線市町で「福井県並行在来線経営安定基金」を造成し、(株)ハピラインふくいの経営を支援する。															
[事業内容]															
<p>&lt;令和7年度事業内容&gt;</p> <p>(1)経営安定基金の拠出(積立)          拠出額:780,510千円(一般財源390,000千円、諸収入390,000千円、財収510千円)          拠出割合:県50%、沿線7市町50%</p> <p>(2)経営安定基金の交付          交付額:760,000千円(繰入金 760,000千円)          交付対象者:(株)ハピラインふくい</p>															
[受益者] ハピラインふくい利用者数						[想定される受益者数] 約682万人(R6.3~R7.1)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	並行在来線の安定経営のため、県35億円、沿線市町35億円の基金を拠出					他県の状況	・石川県(IRいしかわ鉄道) 運行支援基金:50億円(県25億円、市町25億円) 交付実績(H27~R5):6百万円 ・富山県(あいの風とやま鉄道) 経営安定基金:65億円(県30億円、市町30億円、民間5億円) 交付実績(H27~R5):45億円 ※うち赤字補填分15億円								

## 並行在来線経営安定化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人				
事業主体	県、(株)ハピラインふくい				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R16 年度	
事業実施方法	直営、交付金											R5 年度 経過年数			3 年
補助率	定額											3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	【積立金】780,510 【繰入金】760,000			【繰入金】760,000 【諸収入】390,000 【財収】510	【積立金】390,000	(繰入金)並行在来線経営安定基金繰入金 (諸収入)並行在来線経営安定基金(市町負担金) (財収)並行在来線経営安定基金運用利子									
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				400,000	1,110,013	1,540,510	経営計画に基づく増								
2月現計予算額の推移				400,000	1,110,013										
決算額の推移				380,000											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	経営分離後の安定経営 (目標) 実績								(株)ハピラインふくいの経営を安定させるための事業であり、成果指標の設定 になじまない						
活動指標	収支改善に資する利用促進 策の実施 (目標) 実績								(株)ハピラインふくいの経営を安定させるための事業であり、活動指標の設定 になじまない						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
令和6年3月16日 ハピラインふくい開業  令和5年度当期純損失 94,247千円 ※開業後収支は黒字であるため、基金補填なし				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 小浜線利用環境整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人	
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	補助											
補助率	ハード:県2/3(市町2/3)、ソフト:県1/2(市町1/2)											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
小浜線の利用者増加のため、利用者が快適に鉄道を利用できる環境を整備することが必要。						・小浜線の年間利用者数 R3:1,326千人→R5:1,320千人(※敦賀～東舞鶴間)						
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業により、小浜線は新幹線敦賀駅から嶺南地域への主要な二次交通となることから、小浜線各駅の環境整備を進めることにより、小浜線利用者の利便性の向上を図る。												
[事業内容]												
○小浜線各駅の利用環境整備 ・おい町 若狭本郷駅:屋根・外壁改修工事												
[受益者] 小浜線利用者						[想定される受益者数] 小浜線利用者数 約132万人/年(令和5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	県と嶺南6市町が拠出した負担金で造成した「嶺南快速鉄道基金」を活用					他県の状況						

## 小浜線利用環境整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人				
事業主体		嶺南広域行政組合				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法		補助					経過年数	5 年							
補助率		ハード:県2/3(市町2/3)、ソフト:県1/2(市町1/2)													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	18,548			(繰入) 18,548		地域振興基金(嶺南快速鉄道基金)の繰入金									
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		179,449	44,802	20,077	11,471	18,548									
2月現計予算額の推移		176,175	44,802	20,077	10,651										
決算額の推移		26,467	168,323	39,355											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	小浜線の年間利用者数(千人) (目標) 実績			1,320	(1,635)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	嶺南地域公共交通計画では、令和10年度末での成果指標を設定しており、年度ごとに成果指標の目標は設定していない。 ※令和6年度実績はR7.6月末公表予定						
活動指標	補助件数 (目標) 実績	(3) 3	(4) 4	(1) 1	(2) 2	(2)	(12)	(15)	目標:嶺南広域行政組合を通じて行う市町等への補助件数 (R10年度末累計)						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
【補助件数】2件(美浜町・若狭町) 目標達成 (美浜町) 美浜駅:階段案内パネル設置 (若狭町) 気山駅:トイレ改修・駐輪上等改修 十村駅:案内看板整備				おおい町:若狭本郷駅屋根・外壁改修				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 並行在来線北陸トンネル等電波遮へい対策支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課		課長名	坂下 正人	
事業主体	株式会社ハピラインふくい				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	補助												
補助率	県10/10												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
ハピラインふくい線の北陸トンネル等では、通過時に電波が届かない状況が発生している。乗客の利便性の確保および、トンネル内での災害対策としても外部との通信手段の確保が必要。						北陸トンネル等の電波遮へい時間 約8分							
[事業目的]													
携帯電話の電波が通じないハピラインふくい線の北陸トンネル等における電波遮へい対策工事の実施を支援することにより、利用者の利便性を向上させるとともに、災害時の通信手段を確保することにより、安全性の向上を図る。													
[事業内容]													
移動通信基盤整備協会が行う電波遮へい対策工事に係る経費のうち、鉄道事業者負担分を補助													
【総務省電波遮へい対策支援スキーム】													
・移動通信基盤整備協会 1/2													
・国 1/3													
・鉄道事業者 1/6													
[受益者] 北陸トンネル等を通するハピラインふくい線の利用者						[想定される受益者数] (参考)ハピラインふくい経営計画の目標 利用者数 2万人/日							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)				事業名	関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)						事業名
市町との連携状況					他県の状況								

## 並行在来線北陸トンネル等電波遮へい対策支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人				
事業主体		株式会社ハピラインふくい				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法		補助					R7 年度								
補助率		県10/10					経過年数 1 年								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	270,500				270,500										
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						270,500									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	利用者の利便性・安全性向上 (目標) 実績								北陸トンネル等を通過する利用者の利便性向上、災害対策による安全性向上を行うものであり、成果指標の数値目標設定に馴染まない						
活動指標	対策完了トンネル数 (目標) 実績					(2)	(2)	(2)	令和8年度に北陸トンネルの対策完了を目指す						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価					
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 嶺南地域観光交通情報等発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人			
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 区分	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助													
補助率	ハード:県2/3(市町2/3)、ソフト:県1/2(市町1/2)													
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 交流を広げる基盤整備 ]				関連する県の計画等		[ ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
北陸新幹線福井・敦賀開業効果を嶺南地域全体に波及させるためには、敦賀駅から嶺南各地への移動を促すため、情報発信機能を強化する必要がある。						北陸新幹線福井・敦賀開業後の利用者推計 敦賀駅:9,300人/日(出典:H26敦賀駅周辺整備基本計画策定業務)								
[事業目的]														
新幹線敦賀駅に乗継案内や嶺南地域の観光情報等の情報発信を行うデジタルサイネージや広域総合案内所を設置し、新幹線敦賀駅からの公共交通の利用促進を図る。														
[事業内容]														
○乗継ぎ案内機能・観光情報等の情報発信 実施主体:嶺南広域行政組合 ・敦賀駅に設置したデジタルサイネージの保守管理等 ・敦賀駅構内への広域総合案内所の設置および運営等														
[受益者] 新幹線敦賀駅利用者						[想定される受益者数] 新幹線敦賀駅利用者約340万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	県と嶺南6市町が拠出した負担金で造成した「嶺南快速鉄道基金」を活用					他県の状況								

## 嶺南地域観光交通情報等発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助					経過年数	3 年						
補助率	ハード:県2/3(市町2/3)、ソフト:県1/2(市町1/2)												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	6,290			繰入 6,290		地域振興基金(嶺南快速鉄道基金)の繰入金							
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				78,649	4,149	6,290	令和7年度はデジタルサイネージの保守費に加え、観光案内所の設置費等による増						
2月現計予算額の推移				78,649	4,149								
決算額の推移				78,649									
前年度までの 主な増減理由	・令和5年度はデジタルサイネージの設置費 ・令和6年度は保守費												
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	新幹線敦賀駅の利便性向上 (目標) 実績								敦賀駅での乗換客の利便性向上を行うものであり、成果指標の数値目標の設定に馴染まない				
活動指標	補助件数 (目標) 実績			(1) 1	(1) 1	(2)	(4)	(6)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
【補助件数】1件 ・活動指標は目標達成 令和6年2月にデジタルサイネージの設置が完了 北陸新幹線開業時から映像コンテンツの放映を開始				嶺南地域の交通や観光情報等をより積極的にPRしていくために、デジタルサイネージの保守管理に加え、観光案内所の設置を追加				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

# JRローカル線利用促進対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体	沿線市町、広域の利用促進団体				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	3 楽しみを広げる(創造力)				関連する県の計画等		[ ]				
	政策	10 交流を広げる基盤整備										
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
小浜線・越美北線の利用者は減少傾向にあり、日常利用および観光利用の両面で積極的に利用促進を行っていく必要がある。						・小浜線の年間利用者数 R4:1,326千人→R5:1,320千人(※敦賀～東舞鶴間) ・越美北線の年間利用者数 R4:279千人→R5:266千人						
[事業目的]												
小浜線と越美北線の沿線市町等が実施する利用促進事業に対して支援を行い、日常利用および新幹線開業後増加する観光需要を取り込むことで、JRローカル線の活性化につなげる。												
[事業内容]												
(1)JR小浜線・越美北線沿線の市町・利用促進団体が実施する利用促進への支援 ○観光利用促進に関する取組みへの支援(例) (1)観光列車・ラッピング列車の活用 ・ラッピング列車を活用したツアー等 (2)イベント・観光施設等との連携 ・イベント会場にJRで来場した方に対し特典贈呈、JR乗車券提示者に対し、沿線施設の割引等の実施 (3)他の交通モードとの連携 ・JR利用者に対するのタクシー・周遊バス・レンタサイクル等の料金助成 (4)県外エリアでの出張PRイベント ・小浜線・越美北線の沿線の魅力等を県外の主要駅等でPRするイベントを実施 ○日常利用促進に関する取組への支援(例) (1)鉄道利用に対する意識醸成 ・サポーターズクラブ活動、モビリティマネジメント等への支援 (2)乗車するきっかけづくり ・団体利用時・シニア利用時等運賃助成など運賃助成制度への支援												
[受益者] 小浜線、越美北線の利用者						[想定される受益者数] 小浜線:約132万人 越美北線:約27万人(令和5年度)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 JRローカル線利用促進特別対策事業 (実績) 小浜線・越美北線の沿線市町等が実施する利用促進事業への補助を実施					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—					他県の状況	—					

# JRローカル線利用促進対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体	沿線市町、広域の利用促進団体				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		R3 年度 経過年数		
補助率	県1/2								<input type="checkbox"/> その他		5 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,000					10,000							
[予算額の推移等]												(単位:千円)	
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			26,000	26,000	26,083	10,000	「tabiwa」利用者に対するクーポン配布の終了 利用促進団体が実施する利用促進策への支援額削減						
2月現計予算額の推移		7,807	19,735	20,299	7,617								
決算額の推移		5,016	14,242	11,559									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	定期外利用者(千人)	(目標) (210)	(231)	(254)	(279)	(307)	(307)	(326)	小浜線・越美北線の定期外利用者数(令和元年度の9割)(R8年度) ※6年度実績はR7.6月以降公表予定 ※令和6年度実績はR7.6月以降公表予定				
		実績 203	233	242									
活動指標	補助件数	(目標) (10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	小浜線・越美北線の沿線市町等が取組む利用促進事業に対する補助件数 (R8年度)				
		実績 8	8	7	7								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
【補助件数】7件(R6年度実績) (沿線6市町、1団体へ補助) <事業の要因> クーポン券の配布期間が短かったことや「tabiwa」の普及が進まなかったことから、目標未達成。				プレDC、新幹線開業年度に合わせて実施したクーポン券配布事業分に関してスクラップ。事業実績に応じた補助金額の見直し。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	16,083		

## 地域鉄道キャッシュレス化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	地域鉄道課	課長名			
事業主体		福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	坂下 正人  R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県2/3(国1/3)											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果の最大化 ]			関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]  新幹線開業により増加する来県者やインバウンド観光客の利便性向上のため、運賃 決済のキャッシュレス化を推進する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ]  令和4年度利用者数 福井鉄道 約187万人(R1比▲12万人) えちぜん鉄道 約339万人(R1比▲23万人)						
[事業目的]  福井鉄道、えちぜん鉄道に対して交通系ICカード決済の導入にかかる経費を支援し、鉄道利用者の利便性を確保する。												
[事業内容]  (1)補助対象 交通系ICカード[ICOCA]決済導入に要する経費 (決済機器購入費・設置費、システム設定費等)  (2)事業主体 福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社  (3)補助率 県2/3(国1/3)												
[受益者] 福井鉄道、えちぜん鉄道利用者						[想定される受益者数] 約553万人/年(令和5年度)						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		地域鉄道でのICカード決済導入 富山県 ・富山地方鉄道(地域カード、交通系IC…均一運賃区間のみ) ・あいの風とやま鉄道(交通系IC) 石川県 ・北陸鉄道(地域カード) ・IRいしかわ鉄道(交通系IC)				

## 地域鉄道キャッシュレス化推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人				
事業主体		福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		補助					経過年数	3 年							
補助率		県2/3(国1/3)					R4 年度	3 年							
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				439,667	379,498	-									
2月現計予算額の推移				439,667	379,498	-									
決算額の推移				434,117		-									
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	地域鉄道利用人数	(目標)		(5,602)	(5,866)		(5,866)	(5,866)	福井鉄道およびえちぜん鉄道の年間利用人員(単位:千人) 目標:年間利用者数5,866千人(R6年度) ※令和6年度実績はR7.6月以降公表予定						
		実績		5,524											
活動指標	IC決済機器整備数	(目標)		(302)	(63)		(365)	(365)	ICカード決済機器(地上機・車載機)の整備数(単位:個) 目標:365個(R6年度末時点の累計)						
		実績		302	63			365							
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
【利用者数(福井鉄道・えちぜん鉄道)】492万人(R7.1月末時点) <外的要因> ・人口減少等の影響による非日常利用者の減少により目標未達成見込 【IC決済機器整備数】63個 ・活動指標は目標達成				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	379,498				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

# 地域鉄道デジタルスタンプラリー事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度		
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果の最大化 ]				関連する県の計画等		[ ]				
[解決すべき問題・課題] コロナ禍の影響により減少した非日常での鉄道利用の回復を図るため、新幹線開業を契機に、全国からの鉄道利用者の増加を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年度利用者数 福井鉄道 約187万人(R1比▲12万人) えちぜん鉄道 約339万人(R1比▲23万人) JR北陸本線(特急除く) 約645万人(R1比▲49万人) 越美北線 約28万人(R1比▲5万人) 小浜線 約118万人(R1比▲13万人) 計1,317万人(R1比▲102万人)					
[事業目的] 地域鉄道、並行在来線、JRローカル線を含む県内鉄道が連携して、デジタルスタンプラリーを実施することにより、県内鉄道の利用者の増加を図るとともに、県全域へ新幹線効果を波及させる。											
[事業内容] ○駅メモ！によるデジタルスタンプラリーの実施 ・位置情報ゲーム会社((株)モバイルファクトリー)と業務提携し、県内の鉄道(福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピラインふくい、JR小浜線、JR越美北線)が連携したデジタルスタンプラリーを実施 (R6.3~R6.12)											
[受益者] 福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピラインふくい利用者数						[想定される受益者数] 約1,175万人(令和5年度実績)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (役割分担)	事業名 地域鉄道振興推進事業 駅メモ！とコラボした限定切符やグッズをふるさと納税返礼品として取扱			
市町との連携状況	—				他県の状況	2018年度 ・神奈川県 伊豆箱根鉄道 大雄山線、JR東海 御殿場線、小田急電鉄 小田原線 2020年度 ・静岡県 伊豆急行 伊豆急行線 2022年度 ・鳥取県 JR西日本 伯備線 ・愛知県 名古屋鉄道 西尾線、蒲郡線					

## 地域鉄道デジタルスタンプラリー事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度(見直し年度)		
事業実施方法	直営									R4 年度		経過年数	4 年
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額													
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				636	2,411	1,197	—						
2月現計予算額の推移				636	2,411	1,197	—						
決算額の推移				633	2,219		—						
前年度までの主な増減理由	イベント広報費の削減に伴う減												
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	地域鉄道利用人員	(目標) 実績		(5,434) 5,264	(5,602) 5,524	(5,866)		(5,866)	(5,866)	福井鉄道およびえちぜん鉄道の年間利用人員(単位:千人) 目標:年間利用者数5,866千人(令和6年度) ※令和6年度実績はR7.6月以降公表予定			
活動指標	デジタルスタンプラリー参加者数	(目標) 実績		(10,000) 12,113		(12,000)		(22,000)	(22,000)	R4.3末~R4.11末(8ヶ月) 目標10,000人 R6.3末~R6.12末(9ヶ月) 目標12,000人 目標:22,000人(R6年度末時点の累計)			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
【利用者数(福井鉄道・えちぜん鉄道)】492万人(R7.1月末時点) <外的要因> 人口減少等の影響による非日常利用者の減少により目標未達成見込 【デジタルスタンプラリー参加者】20,753人 ・ラッピング列車の運行や各駅記念撮影スポットを整備したことにより、目標を大幅に超えて達成				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	1,197		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

# 北陸三県並行在来線利用促進連携事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果の最大化 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
並行在来線の安定経営に向けて、北陸3県が連携し、新幹線の2次交通としての並行在来線の利便性を高め、利用者数を維持・増加させる必要がある。						北陸三県並行在来線区間の需要予測(各経営計画より抜粋) 【福井県】令和6年度:20,167人/日 ⇒令和16年度:18,162人/日(▲2,005人/日) 【石川県】令和6年度:48,373人/日 ⇒令和15年度:44,288人/日(▲4,085人/日) 【富山県】令和5年度:39,699人/日 ⇒令和12年度:36,077人/日(▲3,622人/日)						
[事業目的]												
敦賀・金沢間の並行在来線開業を機に、既に全線開業している富山県区間も含めた利用促進策をハピラインふくい開業後1年間切れ目なく実施し、乗車する機会や楽しみの創出、観光周遊の需要喚起等により、県境を超えて鉄道利用の促進を図る。												
[事業内容]												
<p>&lt;令和6年度事業内容&gt;</p> <p>事業内容 (1)フリー切符の販売 (2)デジタルスタンプラリーの実施 (3)車両内での観光PR (4)イベント・観光列車の共同運行</p>												
[受益者] ハピラインふくい利用者						[想定される受益者数] 約682万人(R6.3~R7.1)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名						
						関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 並行在来線対策事業 (役割分担) 上記事業は県内の並行在来線の利用促進に向け、沿線市町や地域団体と連携して実施する事業 本事業は、北陸三県が連携して実施する、広域的な利用促進策を検討・実施するための事業					
市町との連携状況						他県の状況	○石川県知事懇談会(令和3年7月) 石川県・福井県及び両県会社による検討チームを設置し、具体的な利用促進策を検討することを合意 ○北陸三県知事懇談会(令和4年7月) 共通切符の発行やイベント列車の運行など北陸三県共同の利用促進企画を検討することを合意 ○利用促進検討チーム(令和4年10月) 三県が足並みを揃えた企画を実施することで合意					

# 北陸三県並行在来線利用促進連携事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人				
事業主体		県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			R5 年度		
補助率		-					□ その他			□ その他			経過年数 2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等]												(単位:千円)			
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				4,000	8,000	-									
2月現計予算額の推移				4,000	4,147	-									
決算額の推移				1,899		-									
前年度までの 主な増減理由	令和6年度から事業が本格始動するため。 事業期間:令和6年3月～令和7年3月末まで(ハピライン開業後1年間)														
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	並行在来線の利用者数	(目標)			(2万人/日)		(2万人/日)	2万人/日	福井県並行在来線経営計画における利用者数目標 ・開業年度(R6)の利用者数2万人/日を開業後11年間維持 ※令和6年度実績はR7.6月以降公表予定						
		実績			2.1万人/日										
活動指標	連携事業数	(目標)		(2)	(2)		(4)	(4)	令和5年度:共通フリー切符の販売、共同観光PR 令和6年度:観光列車の共同運行、共同スタンプラリーの開催 目標:R6年度末時点の累計						
	実績			2	2										
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
【利用者数】2.1万人/日 (R7.1月末時点) ・開業効果や北陸DCなどにより目標達成 【連携事業数】2件 目標達成 <事業内容> ・スタンプラリーの実施、観光列車の共同運行				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	8,000				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 地域公共交通等燃料高騰対策支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人		
事業主体		福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社、ハピラインふくい株式会社			事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 9 100年に一度のまちづくり ]			関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
交通事業者等は、コロナ禍による利用者減少や燃料価格高騰による厳しい経営状況が続いている。						基本料金 R3:1,346.40円 → R6:1,828.35円 電力量料金 R3:10.75円 → R6:19.28円 再エネ賦課金 R3:3.36円 → R6:3.49円						
[事業目的]												
地域の生活や経済を支える社会インフラとして事業を継続している交通事業者等に対し、燃料価格の高騰分を支援することにより、地域に不可欠な交通手段の維持を図る。												
[事業内容]												
交通事業者の電気料金高騰分(対R3年比)を実績に応じて支援												
[受益者] 福井鉄道、えちぜん鉄道、ハピラインふくい利用者						[想定される受益者数] 約1,175万人/年(令和5年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	沿線市町と協調補助					他県の状況						

## 地域公共交通等燃料高騰対策支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部新幹線・交通まちづくり局	課名	地域鉄道課	課長名	坂下 正人				
事業主体		福井鉄道株式会社、えちぜん鉄道株式会社、ハピラインふくい株式会社				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		補助					R5 年度	経過年数		2 年					
補助率		1/2					2 年								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位:千円)</span>															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			0	0	0	-									
2月現計予算額の推移			26,500	48,000	44,500	-									
決算額の推移			24,351	31,623		-									
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績								全国的な課題である燃料価格の高騰に対応するものであり、成果指標の数値設定になじまない						
活動指標	(目標) 実績								全国的な課題である燃料価格の高騰に対応するものであり、活動指標の数値設定になじまない						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
地域鉄道事業者に補助金を支給し、交通事業者の安定運行につなげた。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					